

ありがとう片桐淳至。また一緒に戦おう。出来れば、絶対に。 岐阜 2-2相南【第2節】

片桐さんの甲府への移籍というショッキングなニュースを受けての湘南戦。観衆は6000を超えて、すごい声援が飛んでましたね。数の力はすごいなあ。と、改めて思いましたよ。みんなで後押ししている気分になりました。警告累積で田中秀人と菅の主力を欠くというハンデでかなり苦しい展開になるのでは。と思われましたが、積極的な攻撃に加えて、湘南の守備のウラについてのドリブルと見ていて楽しい試合でした。とはいえ、岐阜も守備のまずさからボールを奪われることもあり、もったいなかったですね。片桐さんは後半から出場され、たくさんかけまわり、ゴールを狙ってくれました。この姿が岐阜では見られないと思うと寂しいですね。

今まで、勝ち試合には必ずといっていいほど片桐さんの活躍がありました。一番の思い出は、自分が長良川競技場で見た初めての勝ち試合だった去年7月の山形戦ですね。勝利を決めた2点めは、片桐さんのフリーキックでした。甲府でも大活躍されることを祈っています。いつでしたが、サインをいただいてありがとうございました。(たつぽん)

後半10分頃から湘南の選手の足は止まっていたのでは？ 秋田選手のゴールが決まった直後からボールキープを徹底させれば 大金星を挙げる事が出来たのでは？

まあ済んだ事は仕方ないので次の試合に期待します。(緑のバンダナ)

ちょっと待って！ ミスター岐阜の称号はいったい誰が受け継ぐのさ？ (tmiikk)

今観戦に来てるけどなぜ片桐が移籍なのか？ 必要なのに (LOVE岐阜)

夏を感じさせる試合。野田聖子後援会の実力が、片桐選手との別れを惜しんでか六千人以上の人出は有難い限りです。暑さをどう乗り切るかが順位浮上のポイントとなるのは間違いない。選手のスタミナUPへスタッフの方々の充分な管理をお願いします。車選手緊張で動きが硬かったなあ。(ミスター珍道)

この試合限りで岐阜を去る片桐淳至。気持ち良く送り出すためにも、是非とも勝ちたかった試合だった。試合は常に先手を取るものの、すぐ追いつかれてしまい残念。点を取った直後の気の緩みを衝かれてしまった。得点を挙げたのが、富成、秋田の両SBであるのは賞賛に値する。特に2点目の秋田のゴールは目の覚めるようなミドルだった。湘南は試合間隔が短かったのと、暑さで省エネ気味だったのが見て取れた。(岐阜の誇り)

この日が来るのが怖かった。ありがとう、戦友よ。さらば、片桐淳至...

衝撃の完全移籍発表を経て迎えた湘南戦。予想を覆してというか、ある意味予想通りというか、1番はスタメンに名を連ねてはいなかった。スタメンで出場し、試合終了間際にスタンディング・オベーションを受けて交替。そんなありがちなパターンじゃ終わらないのが、淳至らしいともいえる。出場後は何回かメモリアル・ゴールのチャンスを得ながら実を結ばなかった。振り返れば、第1クールの湘南戦。先制の鮮やかなロングシュートを叩き込んだが、決勝点となるハズのドフリー・ヘッドが決められず、最後のチャンスも毛先ほどのタイミングが合わなくて、ネットを揺らすことができないままタイム・アップ。まあ、惜別のゴールはまた岐阜に戻ってきた時に決めてくれれば、それでいい。

改めて言うまでもなく、片桐淳至はFC岐阜の看板だった。ひとりひとりに長所と短所があるように、良くも悪くも淳至がFC岐阜そのものだった。岐阜に生まれ、岐阜に育ち、岐阜の代表として全国の決勝で頂点を争う。そんな選手が岐阜のクラブの中心となる。考えてみてほしい。Jリーグに名を連ねる36のクラブの中で、地元出身の選手がエースとなるところは、いったいどれだけあるんだろう？ これは、ものすごく稀有なことだと思う。でも、そんな幸せな時間にも、ひとまずピリオド。これからは、今いる選手を支え、新しいFC岐阜を作り上げていくことしか考えない。それでも...、冒頭の一文に一言付け加えたい。

「いつか、また、ここで。必ず！」(ぐん、)

試合前日に飛び込んできた「片桐選手移籍」の突然の報せ。最後の勇姿を見ようと、入場者数は開幕戦に次ぐ6607人。当の片桐はベンチスタートだったものの、スタジアムは「片桐のゴールが見たい」「勝って片桐を送り出したい」、そんな雰囲気でも包まれていた。とはいえ、流石は(当時)首位の湘南、序盤から試合を優位に進めていく。岐阜は集中した守備で攻撃を防ぐ。そんな前半41分、僅かなチャンスから永芳のクロスをDF富成がダイレクトで合わせて「初ゴール！ 首位相手に先制弾を叩き込み、沸き立つスタジアム。しかし...追加点を狙うあまりバランスが崩れてしまったなあ(苦笑)...その隙を突かれて1分後に追いつかれて、そのまま前半終了。後半開始直後は岐阜が優勢に。そんな中で後半11分、満を持して片桐が登場。直後に気持ちの入ったシュートを撃ち、GKが辛うじて弾き出す。これで一気にスタジアムのボルテージは上昇。一進一退の攻防が続く後半25分、ゴール前からこぼれたボールをDF秋田が見事なミドルで(「初」となる)追加点！ 「追加点を！ 片桐のゴールを！ 勝利を！」と盛り上がるスタジアム。しかし...やはり首位湘南、またも見事な連携で同点。そして試合は終了。勝てなかったのは非常に残念だったが、首位相手に内容結果ともに互角に渡り合う試合ができたのは満足すべきだろうと思う。そして...片桐選手のセレモニー。彼に感謝を示すため、この日のために(というか、わずか1日で)準備されたダンマクやゲーフラの数々が掲げられる。...彼は「必ず岐阜に戻ってサッカーができる様、頑張ります」と言った。僕は、その言葉を信じる。だから...様々な想いが胸中で交錯しているけれど...、僕は敢えて「甲府で頑張ってきてね。また会おう」、それだけを伝えたいと思う。(ささたく)

【緊急企画にご協力いただきありがとうございました】6/14湘南戦版において、甲府へ移籍する片桐選手へのメッセージを緊急募集させていただきまして、わずか5時間足らずで多くの皆さんから投稿をいただくことができました。あつく感謝申し上げます。皆様のおかげで、この緊急企画は成立し、紙面を飾る事ができました。また、この『岐大通』はクラブを通じて片桐選手本人の手元にも届けられており、片桐選手からも感謝の旨を、クラブを通じて伺っておりますのでお知らせいたします。本当にありがとうございました。今後とも『岐大通』へのご理解・ご協力を、どうぞよろしくお願い申し上げます。(ささたく)



絵 ひらっち

today's guest カターレ富山

2008 JFL 第3位
対戦成績
昨年は対戦なし

2009J2

順位表 第2節終了
勝点、得失点差、得点、岐阜戦の戦績
(岐阜から見て)

1 大阪	52p	+22	51	A
2 湘南	51p	+24	47	H
3 仙台	49p	+24	41	A
4 甲府	48p	+21	40	H
5 徳島	38p	+6	33	A
6 東京V	37p	+3	29	H
7 鳥栖	36p	+2	30	H
8 水戸	36p	-5	35	A
9 札幌	34p	+3	32	A
10 草津	32p	+1	36	H
11 富山	29p	-5	21	A
12 愛媛	28p	-4	32	A
13 熊本	25p	-7	37	H
14 岐阜	25p	-12	23	---
15 福岡	23p	-18	19	A
16 栃木	18p	-19	18	A
17 岡山	16p	-22	14	A
18 横浜C	15p	-14	18	A

次回 HomeGame

第27節

愛媛FC戦

7/12(日) 19:00

@岐阜メモリアル
センター長良川競技場

投稿募集!

gdaidohr@hotmail.co.jp

お待ちしております!

FC岐阜大好き通信(岐大通)

7/5号

編集発行:『岐大通』製作委員会

今号の製作担当: ささたく & 吉田鑄造

おしらせ

2009年版『岐大通』は、試合数増加のために全ホーム戦での発行を断念し、3~4節ごとに発行の体制で臨んでおります。

次回発行: 7/26C大阪戦

よろしく願い申し上げます。

ホーム4点爆勝の相手にスコアレス 岡山0-0岐阜【第2節】

心配された1,000円渋滞もなく、実にあっけなく到着した桃太郎スタジアム。今季のアウェイでは、間違いなく近い部類。おまけに、梅雨入りも降水確率もどこへやら。本当に、今季は天気恵まれているような気がする。

岡山は5月の長良川以降、連敗街道を突き進んでいるらしい。この間の失点は大量で、しかも、無得点試合が継続中とか。なんかイヤなフラグが立っている、などと考えたのがマズかったのか。試合開始から岡山のターン。受身に回る時間が続いた後の岡山FWのどフリー・ヘッド。完全に1点を覚悟したが、なぜかシュートはポストを直撃。ポストに当てる方が至難だろ？という、そのシュートを境にようやくコチラも攻撃がかみ合うようになる。ところが、岐阜もつきあいがいいというか、菊池のバー直撃をお返りするありさまで、双方ともなかなか得点に至らない。臍原目に見て、コチラの方がチャンスは多かったような気がするし、途中交代のガチャも久しぶりに惜しい場面を作っていたような気もする。それでも、残念ながら結果はスコアレス・ドロー。今季の岐阜に相手をつんぬんする余裕はないことは承知の上で、それでも不調な下位チームからは確実に勝ち点3を取りたい...、というのは安易すぎる考えだろうか？

「ハレの国」岡山での初めての試合。天気は晴れたが、心に残った曇り空は、第3クールでシッカリと晴らしてもらおうことにする。選手のみなさん、ヨロシクね！

あ、忘れるとこだった。スタジアム・グルメは岐阜の完勝。メインスタンドやバックスタンド・ホーム側のことはわからないけど...。(ぐん、)

雨上がりの天気で、非常に蒸したゲーム。そのせいもあったのか、岐阜の選手はいつもより走れていないように見えた。後半に入ると、岐阜の左サイドが多く狙われるようになり、秋田がその対応に追われてガス欠を起こして交替してしまうほど。それにしても、試合序盤での岡山・青木のヘディングシュートがポストに当たっていなかったらと思うと、まさに冷や汗もの。岐阜も後半、菊池のシュートがクロスバーに当たってなかったらと考えるとお互い負けなくて良かったとも言えるゲームではなかっただろうか。(岐阜の誇り)

この日は昨晚からの雨が朝まで残り、昼から晴天に。おかげで日差しもあり、気温も高く、湿度も高いというなかなか厳しいコンディションでの試合となった。

序盤、いきなり岡山のシュートがポスト直撃。これで肝を冷やすが、その後は徐々に岐阜も攻撃をしかけ、プレスをかける為に運動量を上げていく。嶋田から菊池に渡ってのシュートもあったが、前半は無得点。

後半になって、岡山はラインを下げて、CBの二人が佐藤、西川の二人をしっかりとケア。これで、ゴール前では仕事をさせてもらえない。菅などは動いてはいる。が、いまいち効果的でない。次第に質も量も落ちていく。交代で入った選手たちもいまいちゲームに入れてないのか、集中力を欠くプレー。野垣内は秋田と交代して左SBに入ったが、軽率なプレーでピンチに。西川と交代の片山もゴール前のチャンスに...。しだいに、互いのミスからのカウンター合戦。

そして、ともに精度を欠いて無得点。そのまま、スコアレスドローで試合終了。シュートは岡山が11、岐阜が8。もっと、シュートを打てたようにも思うが、両チームとも精度に難ありといった感じ。

試合後のコメントで菅が「90分走りきれた」と言っていたけど、後半は「走っていた」だけのようにもみえた。また、その他の選手は集中が切れる場面も。確かに今年の岐阜は運動量が持ち味だが、消耗の激しい試合の時に(特にこの試合のように気温、湿度が高い場合)どうするのかを考えないといけない。そう感じた試合でした。(緑の小太鼓)

【セカンド】開幕2連勝！

FC岐阜2ndが7月14、28日に行われた岐阜県1部リーグで開幕2連勝を飾りました。特に第2節のFC川崎戦は両チームのGKにビッグセーブがあり白熱した良い試合。県1部リーグの選手達はよく走りますし、組織としても2部とはかなりの差があると感じました。しばらく中断期間となりますが、その間に各チームがどれだけ成熟するかが楽しみです。(ち～な)

D F崩壊で大量失点..... 熊本5-2岐阜【第2節】

悪い所が全部出た感じの試合でした。セットプレー・遅い攻守の切り替え・守備陣の連携のまずさからの失点、と観戦していてイライラしました。それから、前節勝って気が緩むのか、次の試合で勝てませんね。ひとつでも順位を上げるために、精神的なところもしっかりしてほしいと思っています。(ブラウ)

5月の長良川での対戦はPKでの得点のみ。ともにシュートが決まらない試合であったが、今回はそのシュートの精度と守備力の差がでた試合となった。序盤は岐阜が押ししており、シュートを放つが精度が悪く得点できない。そうこうするうちに15分が過ぎ、熊本も攻勢に。すると、セットプレーから失点。その後、すぐに西川のゴールで追いつく。前半をこのまま1-1で乗り切れればと思っていた、前半ロスタイム、またもセットプレーで失点。しかも、同じ選手に。後半、開始6分でまたも失点。その後、菊池に変えて野元。怪我の為とはいえこれで、交代棒を一つ使ったのは痛い。その後、田中秀人のJ初ゴールで、1点差としたが、立て続けに2失点して2-5と3点差をつけられる。この時、持ち味のプレスもワントンボ遅れたり、寄せが甘くなっていた。この日も前回のアウェイ岡山戦と同様に、気温と湿度が高く、消耗が激しくなった。選手たちはガス欠と言った感じで、3点目を狙いにいった時、裏を取られても戻れず、立て続けの失点となったようにみえた。ここで考えなくてはならないのは、岡山戦同様に早く消耗してしまい、追いつくことができなくなってしまったこと。今後、夏の暑い中での試合が続く為、いかに、90分体力を持たせるかを考えなくてはならない。これから、中断期間が無く試合が続くので今更体力を上げることはできない。となると、いかに効率よくプレスをかけて体力を消耗しないようにしないといけないのでは。でない、いくら若いチームと言っても...。

また、今更ながらシュートの精度も気になる。シュート数は、両チームともに前回と対戦とそれほど差は無い。が、前は野田のスーパーセーブがあって、熊本のシュートが決まらなかっただけで、今回はそのスーパーセーブがなかったから、この得点になった。そう考えるとゴール前でのプレーの質を上げないと、きびしい。それが見えた試合だったと思う。(緑の小太鼓)

水前寺で開催されたアウェイ熊本戦。1日雨の予想も外れて蒸し暑く、しかも中3日での試合。タフな試合になる事が予想された。...そして事実、僕らサポーターにもタフさが要求される試合だった。試合開始から攻勢に立つものの決めきれず、逆にCKで失点。5分後には西川のゴールで追いつくものの、前半ロスタイムにもCKで失点。後半すぐにも失点し2点差。後半25分にはDF秀人のヘッドで1点差を追いつくが、その直後に立て続けに2失点。結局、5失点してJ昇格“同期”対決で初の敗北。JFL時代から2年越しの借りを返させられてしまった。まるで前節徳島戦の逆を見ているかのようだった。西川・秀人の得点はあったものの、自分たちに流れが来ている時にきちんと決めないと、こうなるのだと痛感させられた。

さて、今節はカターレ富山戦。JFL(アローズ北陸・YKK AP)時代から苦い経験をさせられ続けている相手だ。しかも、前回4/29のアウェイ戦では0-3と完敗。しかし、5月6日とホームで負けていない我がFC岐阜、チームの成長も著しい。今度は、僕らが富山に2年越しの借りを返す番だ。(ささたく)

どんな内容でも、試合終了までは声を出し続けてきたつもりだけど、この試合、とある場面でヘタレてしまい、両膝に手をおいたまま、しばし身じろぎもできなかった。後半開始早々に失点し、そのすぐ後に訪れた決定機。あう、洗一が外した場面のことだ。「アノ洗一が...」と。ああいうボールを実に柔らかく、グラウンダーで流し込むのがセクシー、な彼のこと。サラッとゴールって思ったんだが、すでに半分以上突き上げかけた両腕は、行き場がなくなりそのまま膝まで落下するハメに。それでも、気を取り直して声を出してたら、秀人が決めてくれた。チャンスも完封勝利の徳島戦より作っていた。キャプテンにもオイシイ場面があったけど、残念ながら宇宙開発。去年の水前寺での同点ミドルが再現できなかったのは、左足でも頭でもなく、右足だったせいかもね。

そして、ついに訪れた、Jリーグ参入後初めての九州での敗戦。もちろん、敗因は守備にあるんだけど、だからといってそれはDF陣だけの責任じゃない。特に、前半2失点を喫したCKは、ショートコーナーと見せかけて、微妙にタイミングを外して絶妙の位置に配給した熊本・原田のイラシキはあるにせよ、2回とも「どフリー」な選手が複数いたよ？試合前のスカウティングだけでは不十分。刻々と動く試合の中で、自ら修正ができるようにならなきゃね。このお返しは、第3クールのKKウイングでしてやるうぜ！(ぐん、)

アウェーの借りは返した 岐阜3-0徳島【第2節】

今日の徳島戦、開始直後はかなり押されて失点してもおかしくない場面でした。この試合を勝てたのは、佐藤くんの先制まで、よくしのいだこと。これに尽きると思います。見ていたサポーターもまさか、3点も取って圧勝するとは思わなかったんじゃないかな。

この試合のMVPは佐藤くんでしたが、自分はあれだけ攻められながら無失点を貫いた、恭平さんにあげたかったです。恭平さんのまわりにはなにかいた？と言いたくなるくらい徳島のシュートが外れたし、枠をとらえても、恭平さんが守ってくれました。

そして、もうひとつ嬉しかったのは、期待のホープ、染矢くんがスタメン。小さな体があちこちに駆け回り、ボールを追う姿をたくさん見ることができました。彼の運動量はすごいですね。イエローをもらったのは痛かったけど。さらに、後半にはガチャが出演。最近、改札口やグッズ売り場でしか見ることがなくて、久しぶりにプレーしてるガチャを見ることができました。3点めは、ゴール前にガチャがいたので、ガチャゴールかと期待したいけど...惜しかったなあ。やっぱりプレーしているガチャがいいですね。

今シーズン4回目の勝ち試合の観戦となりましたが、一番楽しい観戦になりました。しばらく、ホームではナイター試合ですね。この試合も気持ちいい気候でした。みんなで涼みがてら、サッカー観戦しましょう。(たつぼん)

サッカーの試合を語るのにプロ野球の監督の言葉を借りるのもナンだけど(苦笑)、まさに「勝ちに不思議の勝ちあり」と言いたくなるような勝利。日野優が対戦相手として登場したこの試合。前半15分までは、いったい何点取られるんだらう？と心配しなければならぬほどの一方的な展開。中でも、前節からレンタル移籍で加入した柿谷の噂に違わぬテクニシャンぶり。首位を争う戦いの中にもかかわらず、期待の若手を同じディビジョンのクラブに貸すことができるC大阪の余裕がウラヤマシイ...。もちろん柿谷以外にも、徳重、倉貫を中心として中盤の底からサイドへ抜けてくる14番とか、甲府に在籍した昨季から「岐阜戦でしか点取らないんじゃないか？」と揶揄される羽地。もし、あのシュートがポストに阻まれなかったら...、結果はどうなっていたことか？

そんな流れを打ち破ったのが18番。「得点王を狙っちゃいます」宣言の冴一が見せてくれた、CKからのヘッダー発！期待に応えるウエディング・ゴールを決めてくれた。先制後はようやくボールを回せるようになったが、それでも相変わらず徳島の攻撃には何度となくヒヤリとさせられ、それでもナゼだか失点に至らぬ状況の中の追加点。キャプテンがダイビング・ヘッド。遂に左足以外での得点だ(笑)。

後半に入ると、徳島の攻撃でピンチの場面はあるもののシュートはことごとく宇宙開発か、恭平の正面。いつしか、徳島の連係は薄れ、ワンダーボーイも埋もれてしまう。83分には富成のダメ押しゴールも飛び出し、バクスタたすき付近はお祭り状態。本当にホームで勝つってサイコーッですね！これで、2ヶ月連続、ホームは負けなし。7月になってもこの勢いを続けよう！(ぐん、)

この日、私は仕事の為に、前半途中からスタジアム入り。すると、「ゴール！！」の放送が聞こえてくる。この時点でスコアは分からなかったの、入場後スタジアムのボランティアの方にスコアを尋ねる。

「2-0ですよ。」

「えっ！」

おもわず驚きの声を上げる。メインスタンドにて知り合いの面々と合流して、それまでの流れを聞くと、前半15分までは何点取られて負けるかを覚悟したと皆が口をそろえて言う。が、話を聞きつつ試合を見ていると、それが嘘のようにしか聞こえない。きっちりプレスをかけてマイボールにしているし、C大阪からレンタル移籍してきた天才柿谷にも仕事をさせていない。何をきっかけにと聞くと、前半17分の佐藤のゴールからとのこと。にしても、この日の岐阜は想定通りのゲームをした。後半には右SBの富成がダメ押しの三点目。まさに、完勝だと思う。

試合前に、今西社長がマスコミにチームの現状を話し、より多くの支援を訴えたが、この日のような試合をホーム長良川でするなら、初めて観戦に来た人も満足できて、また来ようと思えるのではないかと。そんなゲームでした。

最後に、佐藤へ。結婚おめでとう。長良川でガンガン点を取って、奥様に勝利給をたくさん渡してやって下さい。そして、おなかの中にいる二世のミルク代もしっかり稼いでください。勝ちすぎて、チームが勝利給の支払いに困るくらいの更なる活躍を期待します。

(緑の小太鼓)

少ないチャンスをモノにした岐阜が多くチャンスをフイにした徳島に助けられましたね。途中から足が止まった徳島と蒸し暑くなかった気候にも助けられ運動量の落ちなかった岐阜。連戦の合間の調整の差が徳島の岐阜への勝てるという気の緩みか、何れにせよ勝利おめでとう！

観客数も三千人を超え7月の日曜連戦へ向け皆さん動員ヨロシク！経済的な理由から選手の放出に繋がることの無いよう心から願ってます。(ミスター珍道)

立ち上がり15分くらいまでは、本当にいつ点を奪われてもおかしくない展開だった。柿谷や徳重に翻弄され、どこまで持ちこたえることができるかと思いつつ見ていた。ところが岐阜がCKを佐藤が決めてから、試合展開が一転してしまったのだからサッカーとは分からないものだ。富成のクロスに、オフサイドラインぎりぎりからダイビングヘッドで飛び込んだ和範の2点目もお見事。徳島には岐阜の倍くらいシュートを打たれたが、フィニッシュの雑さにも助けられた感があり。

この日は仕事帰りのサラリーマンの姿が数多く見られた。彼ら彼女らが、また次に家族や友達を誘って見に来てくれるようならば、こんな嬉しいことはない。次のホームは富山戦。前は0-3と完敗だっただけに、負けられない！

(岐阜の誇り)

【応援企画】

『J2ゲーフラヶ原の戦い』に
参戦する勇者を求む！

現在Jリーグの公認ファンサイト「J's GOAL」上ではJ各クラブのサポーターによるゲーフラコンテスト「J2ゲーフラヶ原の戦い」を開催中です。

本日はFC岐阜の代表になる5本のゲーフラを決める取材日で、私たちG-styleでは連動企画として「第3回ゲーフラ祭！！」を開催し、たくさんのゲーフラを会場に集結させるべく呼びかけを行ってきました。選手入場の際、バックスタンド向かって左よりのエリアにぜひご注目ください。それぞれの想いのこもった色とりどりの～といってもチームカラーの緑が基調ではありますが(笑)～ゲーフラがものすごい数で掲げられ、選手を後押しします。今日の試合の勝利と、代表に選ばれた5本のゲーフラのサイト上での勝利を掴みましょう！！(TAG)

参考URL <http://www.jsgoal.jp/special/j2gateflag/>

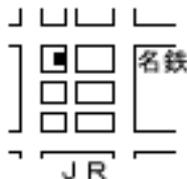
ALADDIN

何も無い店だけど... 心の花が咲く...
何も無い店だけど... 心、癒される...
忘れかけていた喫茶店がある

岐阜市昭和町3丁目(木ノ本公園東)

「いらっしやいませ」より
「おかえりなさい」が似合う
アットホームな韓国料理店。

『チヂミ屋』は
JR岐阜・名鉄岐阜駅から徒歩3分。
休：日曜日(今日はお休みです)



Living in Woods

本庄工業株式会社

<http://www.honjp-woodream.com/>

FC岐阜 2009 応援チャントピックアップ

チームチャント

バモ岐阜バモ (Vago y A torrente) <http://jp.youtube.com/watch?v=HdzJSLV2kbY>

バモ岐阜バモ 友よさあ行こう ナダレる 暴れる 我等と
熱い気持ち バモ岐阜バモ いざ 今戦おう

誇り胸に (Hay che bostero) <http://jp.youtube.com/watch?v=uUEPdWN4FEE>

俺達が 共にいる どんな時も お前と
今ここで みせる岐阜 誇り胸に 闘え

情熱を胸に (オリジナル)

燃えたぎる情熱を その胸に持ち戦え
恐れず前を向き ゴールを奪え

タオル振りチャント

モリヤマ (CULTURE CLUB/Kama Chameleon) [【タオル振りチャント】](#)

エーフシーギーフゲットゴール ゲットゴール ゲットゴール

ネットを揺らせ 椰ひろみ 誘われてフラメンコ [【タオル振りチャント】](#)

ネットを揺らせユーラユーラ ネットを揺らせユーラユーラ

パパーラ (パパーラ/B-DASH) [【タオル振りチャント】](#)

パパーラパーパー パパーラパー
パパーラパーパー パパーパー

タオマフチャントは
この3つ!



個人チャント

08 徐冠秀 (アリヲ牧童 /Koyote 038~) <http://jp.youtube.com/watch?v=hOKR22C7KaA>

ララー ララララー
ファイティン ファイティン SEO KWAN SOO!
(GO!・GO!・GO!・GO!)

14 嶋田正吾 (ザブングル) <http://jp.youtube.com/watch?v=qDAPLQ B15s>

疾風のように アレ嶋田 アレ嶋田

20 染矢 一樹

ゆけーゆけーバモ染谷 ゆけーゆけーバモ染谷
岐阜の韋駄天バモ染谷 オーレッ!!バモ染谷

選手入場時は
『緑のアイテム』
(タオマフ旗 etc) を掲げて
会場を盛り上げよう!